

# お金のことを考える

## 1. 授業のねらい

- 1 一人一人の人生には様々なライフイベントがあり、それらの多くはお金がたくさんかかるということを理解することができる。
- 2 お金や銀行の歴史について学び、お金についての理解を深めることができる。
- 3 銀行等の金融機関の仕事を理解するとともに、自分が欲しいと思っている物が手に入れづらい時には金融機関に相談して解決を図ることができることに気づくことができる。

## 2. 主な授業展開

学習活動と内容	● 児童の活動
<p>1. ライフプランについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 人生ゲームを例に、個々のライフプランに様々なライフイベントがあることに気づく。</li> </ul>	
<p>2. お金がなぜ生まれたかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 今のお金ができる前は何か使われていたかを考える。</li> </ul>	
<p>3. お金の歴史を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「物々交換」に始まり、貝などが通貨の役割を果たした「物品交換」、金や銀などが貨幣として使われた「金属貨幣」、「紙幣」とお金の移り変わりを理解する。</li> </ul>	
<p>4. お金を使ってどんなことができるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● お金を使ってどんなことができるかをワークシートに書き出し、書いた内容をもとに自分の持っているお金と物を交換している、つまり、お金が価値を交換していることを理解する。</li> </ul>	
<p>5. 銀行がなぜできたかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 昔は金で買える物と銀で買える物がそれぞれ異なり、金と銀を交換する「両替商」ができ、それが現在の銀行になったことを理解する。</li> </ul>	

学習活動と内容

● 児童の活動

6. 銀行の仕事について考える。

- 計算クイズを通して、お金の貸し借りに関する利息の仕組みについて理解する。

MUFG 本業と社会を学ぶ

お金のことを考える **利息を計算してみよう**

📄 **チャレンジ!**

銀行にお金をあずけると、毎年1%の利息がもらえます。1万円をあずけた時、1年後の利息はいくらでしょうか?

1万円

利息 1%

① 1,000円  
② 10,000円  
③ 100円  
④ 10円

7. 銀行以外の金融機関の仕事を理解する。

- お金を貸す「貸金業」、証券という仕組みを使ってどんな人でもいろいろな会社の応援ができるようにする「証券業」、お金が足りなくても買い物ができるようにしてくれる「クレジットカード業」、お金のプロに、自分のお金を増やしてもらうようお願いできる「信託業」、事故や病気でも多くのお金を必要とするときにサポートする「保険業」について理解する。

MUFG 本業と社会を学ぶ

お金のことを考える **クレジットカード業の仕事**

クレジットカードは、そのときお金がたりなくてもお買い物できるほうほうです  
あとからお金(代金)をはらいます

いま買わないと困るけど、お金がたりない...

代金はあとでクレジットカード会社にはらってください

お店にはクレジットカード会社が代わりに払います

8. 自分が欲しい物、それを手に入れるためにどのくらいお金が必要かを考える。

- ワークシートに欲しい物を書き出し、全部手に入れるためにはお金がどのくらい必要かを考える。

MUFG 本業と社会を学ぶ

お金のことを考える **あなたがほしいものを書きだそう**

📄 **チャレンジ!**

あなたがほしいものを書きだしてみよう

📄 **チャレンジ!**

書きだしたほしいものを手に入れるためにはお金がどのくらいかかるか考えてみよう

9. 「8」で書いた物全てを買うためにはどのくらいの期間がかかるかを考える。

- 1年に400万円の給料で自分がほしい物をすべて手に入れるには時間がかかることに気づき、すぐに手に入れたい場合には金融機関に相談できることを理解する。

MUFG 本業と社会を学ぶ

お金のことを考える **ほしいものを買うためのお金**

ひつようなお金	ひつような時間
～100万円	～1年
～1,000万円	～5年
1億円～	10年～

1回ずつ手をあげてね

# お金のしくみやお金を使うことを考える・お金のトラブルに気をつける

## 1. 授業のねらい

- 1 最近自分がした買い物について考えることを通じて、身の回りの物の値段が時代によって変化していることを理解することができる。
- 2 お金の正しい使い方をシミュレーションすることで、お金を使うときはしっかり考えてから使うことの大切さを理解することができる。
- 3 お金の貸し借りやワンクリック詐欺、ゲームへの課金等のお金のトラブルへの対処方法を理解することができる。

## 2. 主な授業展開

学習活動と内容	● 児童の活動
<p>1. 「契約」とは何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「下校後に遊びの約束をすること」だけでなく「1000円で売っているお弁当を1000円出して買う」というような日常生活で当たり前にあることが契約になっていることや、契約とは必ずしも紙に名前を書いたり、ハンコを押したりする必要が無いことを理解する。</li> </ul>	<p>Mitsubishi UFJ Bank infographic titled "お金のしくみやお金を使うことを考える" (Thinking about how money works and how to use it). The specific section is "契約ってなに？いつ成立するの？" (What is a contract? When does it become effective?). It defines a contract as an agreement between two or more people. An illustration shows two children talking, with one saying "Let's meet at the park on Friday!" and the other saying "I'll bring the game!".</p>
<p>2. 最近の自分の買い物について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「最近どんな買い物をしたのか」「その物はどうのようにして買ったのか」についてワークシートに書く。</li> <li>● 今では硬貨や紙幣だけでなく、SuicaやPASMO、ペイペイなど、さまざまな支払い方法があることに気づく。</li> </ul>	<p>Mitsubishi UFJ Bank infographic titled "お金のしくみやお金を使うことを考える" (Thinking about how money works and how to use it). The specific section is "さいきんの買い物を思い出そう" (Remember your recent purchases). It lists three payment methods: 硬貨・紙幣 (Cash/Bills), 交通系ICカード (IC Card), and スマートフォン (Smartphone). An illustration shows a girl thinking about her purchases with a speech bubble saying "Isn't it nice to have so many ways to pay?".</p>
<p>3. 身の回りの物の値段の変化について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● パンやポテトチップスなどを例にして、数年前と比較して物の値段が変わっていることや、バスの運賃のように誰もが必須とする物の値段はあまり変わらないことについて気づく。</li> <li>● 昔にさかのぼって、明治時代と今の時代の家の値段を比較すると35円が10万円になっているように、長い年月が経つと物の値段は大きく変わっていることに気づく。</li> </ul>	<p>Mitsubishi UFJ Bank infographic titled "お金のしくみやお金を使うことを考える" (Thinking about how money works and how to use it). The specific section is "ねだんはかわっていく？" (Do prices change?). It compares prices of bread and bus fares in Meiji and modern times. Bread was 28 yen in Meiji and 22 yen in modern times. Bus fares were 115 yen in Meiji and 210 yen in modern times. A house that cost 35 yen in Meiji now costs 100,000 yen. A speech bubble says "It's amazing how prices have changed over time!".</p>
<p>4. お金のトラブルを考える。</p> <p>&lt;お金の貸し借り&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「友達にお金を貸してほしいと言われたらどうするか？」を考えることを通じて、お金を返してもらえないトラブルが多いことを知り、お金を貸してはいけないことに気づく。</li> </ul> <p>&lt;ワンクリック詐欺&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 「ウェブサイトを検索中に『無料でおもしろい動画が見られます』と画面に出たらどうするか？」を考えることを通じて、ワンクリック詐欺というトラブルがあることを知り、こういった画面ではクリックしないことや、お金を支払うように指示されても無視すればよいことを理解する。</li> </ul>	<p>Mitsubishi UFJ Bank infographic titled "お金のトラブルに気をつける" (Be careful of money troubles). The specific section is "お金のトラブル その①：お金をかす、かりる" (Money trouble No. 1: Borrowing or lending money). It discusses borrowing money and one-click fraud. For borrowing, it says "友だちに「お金をかしてほしい」と言われたら、あなたはどうする？" (If a friend asks you to lend them money, how do you feel?). It says "返してもらえないトラブルがとても多いです。ぜったいにかさないようにしましょう" (There are many troubles where you can't get the money back. Please don't lend money). For one-click fraud, it says "ウェブサイトを検索中に「無料でおもしろい動画が見られます」と画面に出ました。どうしますか？" (While searching for a website, a message appeared: "Free interesting videos are available." How do you feel?). It says "「すぐに10万円はわかってください」といったワンクリック詐欺の可能性もあります。無視するかお家の人に相談しましょう" (There is also a possibility of one-click fraud where you are asked to pay 100,000 yen immediately. You can ignore it or talk to your family member).</p>

学習活動と内容

● 児童の活動

4. お金のトラブルを考える。(続き)

<ゲームへの課金>

- 「ゲームでアイテムが欲しくなったときにおうちの人のお金やクレジットカードを使ってアイテムをゲットした」ことについて考えることを通して、たとえ家族であってもお金やクレジットカードを勝手に使うのはいけないことに気づく。

<ケガ、物をこわした>

- 「自転車で大けがをさせてしまったときに支払うお金はいくらか?」を考えることを通して、小学生が起こした事故でも1億円に近い金額を支払わなければならない場合があることを理解する。

MUFG 未来のお金を考える日

お金のトラブル その④：ゲームへの課金

「やっぴりおどろき!」

クラスで流行っているゲームをみんなで遊んでいるときにどうしても強いアイテムが欲しくなり、「おうちの人のお金やクレジットカードを使ってアイテムをゲットしよう!」何がなかった?

10万円も何に使ったの!!

× おうちの人のお金やクレジットカードを勝手に使わない!

MUFG 未来のお金を考える日

お金のトラブル その⑤：ケガ、物をこわした

「やっぴりおどろき!」

だれかに自転車で大けがをさせてしまったとき、その人の治療にかかるお金をはらわないといけない。たとえば一生歩けないような大けがだった場合、過去、将来どのくらいお金をはらう必要があったと思いますか?

自転車で人をひいてしまい、一生歩けないような大けがをさせたときは?

- ① 10万円くらい
- ② 100万円くらい
- ③ 1000万円くらい
- ④ 1億円くらい

5. 自分が持っている物がどのように自分の物になったかを考える。

- 親が仕事をして得た収入で、自分の物を買ってもらっていることに気づく。

MUFG 未来のお金を考える日

お金のことを考える

どのようにして自分のものになった?

家族のお給料で買ったもの

6. 最近の自分が買った物について考える。

- ワークシートに、自分のお金で買った物、家族に買ってもらった物を書き出し、自分のお金の使い方を振り返る。

MUFG 未来のお金を考える日

お金のことを考える

お金の使い方をふりかえてみよう

「やっぴりおどろき!」

自分のお金で買ったもの、家族に買ってもらったものを書きだしてみよう

お年玉やおこづかいで買ったものはあるかな?

7. お金をどのように使うかを考える。

- お金をどのように使うかを考え、ワークシートの5つのステップの内容を考えて書く。
  - ①自分が欲しいものを1つ書き出す。 ②なぜそれが欲しいのか考える。
  - ③欲しいものの値段を調べる。
  - ④買うためにどのようにお金を用意するか考える。
  - ⑤それをいつ買うか考える。

MUFG 未来のお金を考える日

お金を使うことを考える

シミュレーションをしてみよう

「やっぴりおどろき!」

- ①自分がほしいものを1つ書きだそう
- ②どうしてそれがほしいのか考えよう
- ③ねだんをしらべてみよう
- ④お金をどうやって用意するか考えよう
- ⑤いつ買うか考えよう

さいごのワークだよ! いっしょにがんばろう!

8. 授業について振り返る。

- 今日の授業を踏まえて、お金を使うときにはどのようにすればよいかを考える。

MUFG 未来のお金を考える日

いよいよ

ふりかえてみよう

銀行は、お金をあずかる・おくる・かすという仕事をしています

# サステナブルを考える日

## 1. 授業のねらい

- ① SDGsの17の目標内容を理解するとともに、SDGsの観点で身の回りの困りごとを発見したり、解決方法を考えたりすることができる。
- ② サステナブルな社会とはどのような社会かを理解するとともに、日本を含めた各国の政府や企業がサステナブルな取り組みをしていることに気づくことができる。

## 2. 主な授業展開

学習活動と内容

● 児童の活動

1. 国連が定めた、2030年までに達成したいと考えているSDGsの図にある17の目標がどのような内容かを考える。

- SDGsの17の目標の文章とアイコンを結びつけるワークを行う。



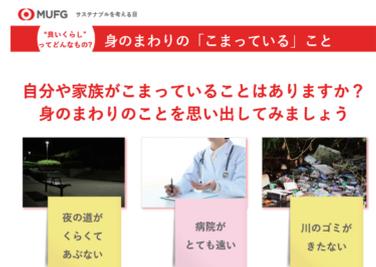
2. ワークをもとにして、SDGsの目標について考える。

- ①貧困をなくす目標、②飢餓をゼロにする目標、③全ての人に健康と福祉を提供する目標、④質の高い教育を提供する目標、⑤ジェンダー平等を実現する目標、⑥安全な水とトイレを提供する目標、⑦全ての人々が環境にやさしいエネルギーを利用できる目標、⑧全ての人が良い仕事を見つけ、経済が持続的に成長する社会を目指す目標、⑨産業と技術革新の基盤をつくる目標、⑩人や国の不平等をなくす目標、⑪住み続けられるまちづくりを行う目標、⑫つくる責任・使う責任に関する目標、⑬気候変動に対する対策を講じる目標、⑭海の豊かさを守る目標、⑮陸の豊かさを守る目標、⑯平和と公正な社会で生活できるようにする目標、⑰すべての国や人々が協力し合う目標といったSDGsの目標について理解する。



3. SDGsの視点で、良いくらしについて考える。

- 身の回りにある困っていることを付箋に書き出す。



4. それぞれが付箋に書いた困りごとをグループで話し合い、共有する。

- グループになり1人ずつ付箋を見せて自分の書いたものを発表し、お互いの困りごとで、似ているもの同士を1つにまとめる。



学習活動と内容

● 児童の活

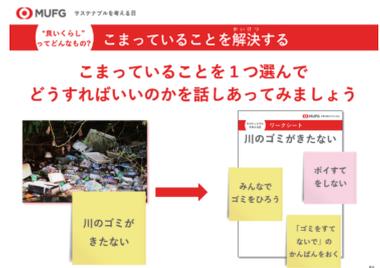
5. グループでまとめたものをSDGsの観点で考える。

- グループでまとめたものが、SDGsの17の目標のどれに近いかを考える。



6. グループで共有した困りごとを取り上げ困っている理由やその解決策を考える。

- 困りごとの中から1つ選んで、なぜ困っているのかを話し合い、それをもとに解決するためのアイデアを出し合う。



7. サステナブルな暮らしや取り組みについて考える。

- サステナブルな暮らしとは、世界中のすべての人が気持ちよく暮らせること、そして、自分たちの子どもやその先の世代でも続くものであることを理解する。



8. 日本や世界で行われているサステナブルな取り組みについて考える。

- 日本では醤油を作るときに出る「醤油粕」を使って家畜のえさにしたり、海外では繰り返し使える材料で、椅子やテーブルが古くなっても修理して使い続けられるようにしたりしていることを理解する。
- MUFGが取り組んでいるサステナブルな取り組みについて理解する。

